

第 64 回全日本障害馬術大会 2012 Part I 大会案内

【正式な実施要項については当連盟ウェブサイトにて別途発表予定】

平成 24 年 2 月 21 日付発表

1. 期日 平成 24 年 11 月 15 日 (木) ~ 18 日 (日)

2. 会場 杉谷馬事公苑 (予定)

3. 競技種目及び日程 (競技日程は都合により変更することがある)

第 1 日目 (11 月 15 日)

フレンドシップ競技

I 120cm 以下

II 130cm 以下

第 2 日目 (11 月 16 日)

第 1 競技 中障害飛越競技 A (スピードアンドハンディネス)

基準 C 239 条 263 条

H135cm 以下 W160cm 以内 個数 15 個以下

同タイムの場合、ジャンプオフは実施せず同順位とする。

第 2 競技 大障害飛越競技 (スピードアンドハンディネス)

基準 C 239 条 263 条

H145cm 以下 W170cm 以内 個数 15 個以下

同タイムの場合、ジャンプオフは実施せず同順位とする。

第 3 競技 中障害飛越競技 B (スピードアンドハンディネス)

基準 C 239 条 263 条

H125cm 以下 W150cm 以内 個数 15 個以下

同タイムの場合、ジャンプオフは実施せず同順位とする。

第 3 日目 (11 月 17 日)

第 4 競技 中障害飛越競技 A (標準)

基準 A 238 条 2.1 (ジャンプオフは行わない)

H140cm 以下 W160cm 以内 水濠 350cm 以内 個数 13 個以下 分速 375m

第 5 競技 大障害飛越競技 (標準)

基準 A 238 条 2.1 (ジャンプオフは行わない)

H150cm 以下 W170cm 以内 水濠 400 cm 以内 個数 13 個以下 分速 375m

第 6 競技 中障害飛越競技 B (標準)

基準 A 238 条 2.1 (ジャンプオフは行わない)

H130cm 以下 W150cm 以内 水濠 350cm 以内 個数 13 個以下 分速 375m

※ 第 2 日目の競技 (スピードアンドハンディネス) に出場しなかった人馬は第 3 日目の競技 (標準) に出場することはできない。

第 4 日目 (11 月 18 日)

第 7 競技 中障害飛越競技 A (決勝)

基準 A 238 条 2.2 (ジャンプオフは基準 A で行う)

H140cm 以下 W160cm 以内 水濠 350cm 以内 個数 13 個以下 分速 375m

第 8 競技 全日本障害飛越選手権

基準 A 273 条 1, 2.2, 3.1, 4.1 (ジャンプオフは基準 A で行う)

H150cm 以下 W180cm 以内 水濠 400 cm 以内 個数 13 個以下 分速 375m

※ 1 回目の走行にて、完走した人馬のみ 2 回目の走行に出場できる。

第 9 競技 中障害飛越競技 B (決勝)

基準 A 238 条 2.2 (ジャンプオフは基準 A で行う)

H130cm 以下 W150cm 以内 水濠 350cm 以内 個数 13 個以下 分速 375m

【決勝競技 出場人馬決定方法】

- (1) 第 7 競技と第 9 競技の出場権については、スピードアンドハンディネス競技と標準競技における順位点の合計点の少ない**各上位 50%** (第 2 日目の第 1 競技、第 3 競技の出場数に基づく) までの人馬が出場できる。ただし、いずれかの競技で失権もしくは棄権した人馬には順位点を与えず、決勝競技の出場権はない。
- (2) 第 8 競技の出場権については、スピードアンドハンディネス競技と標準競技における順位点の合計点の少ない**上位 15 選手**が出場できる。ただし、いずれかの競技で失権もしくは棄権した人馬には順位点を与えず、決勝の出場権はない。また、複数の馬匹で出場権を得た選手は、いずれか 1 頭を選択しなければならない。
- (3) 順位点は、第 1 位を 1 点とした各順位をその人馬の順位点として配点し、スピードアンドハンディネス競技、標準競技の点数を出場人馬ごとに合計する。順位点が同点の場合は、スピードアンドハンディネス競技の成績上位の人馬を上位とする。

4. 参加資格

- (1) 日本馬術連盟の個人会員で、申し込み時において日本馬術連盟騎乗者資格 B 級以上の取得者であること。
- (2) 日本馬術連盟が特に認めた者。
- (3) 馬匹は、申し込み時において日本馬術連盟の登録馬であること。
- (4) 日本馬術連盟に登録のない団体は、所属の名称として使用できない。

5. 参加条件

- (1) 選手の出場は、同一の競技について一選手 3 頭までとする。
- (2) 馬匹の出場は、同一競技につき 1 回限りとし、クラスを重複できない。
- (3) 第 1 競技と第 4 競技ならびに第 7 競技、第 2 競技と第 5 競技ならびに第 8 競技、第 3 競技と第 6 競技ならびに第 9 競技は、各々同一の選手が出場しなければならない。
- (4) 中障害 B
 - ① **平成 24 年 10 月 21 日 (日)** までの公認競技会における中障害 B 乗馬ランキングポイント**上位 60 位** までの馬匹。
 - ② **61 位~80 位** を予備馬とし、欠員が生じた場合は、順次繰り上げる。
 - ③ 第 64 回全日本障害馬術大会 2012 Part II の中障害 C 決勝競技における、上位 5 位までの人馬。
 - ④ 第 36 回全日本ジュニア障害馬術大会 2012 のヤングライダー選手権における、上位 3 位までの人馬。
- (5) 中障害 A
 - ① **平成 24 年 10 月 21 日 (日)** までの公認競技会における中障害 A 乗馬ランキングポイント**上位 50 位** までの馬匹。
 - ② ポイントを獲得した馬匹に限る。
 - ③ 第 36 回全日本ジュニア障害馬術大会 2012 のヤングライダー選手権における、上位 3 位までの人馬。
- (6) 大障害

平成 24 年 10 月 21 日 (日) までの公認競技会における大障害乗馬ランキングポイントでポイントを獲得した馬匹。
- (7) ナショナルチームに認定されている選手は、推薦枠で出場することができる。
- (8) エントリー状況に応じて、参加頭数を調整する場合がある。